

エイズと性感染症について考えよう！

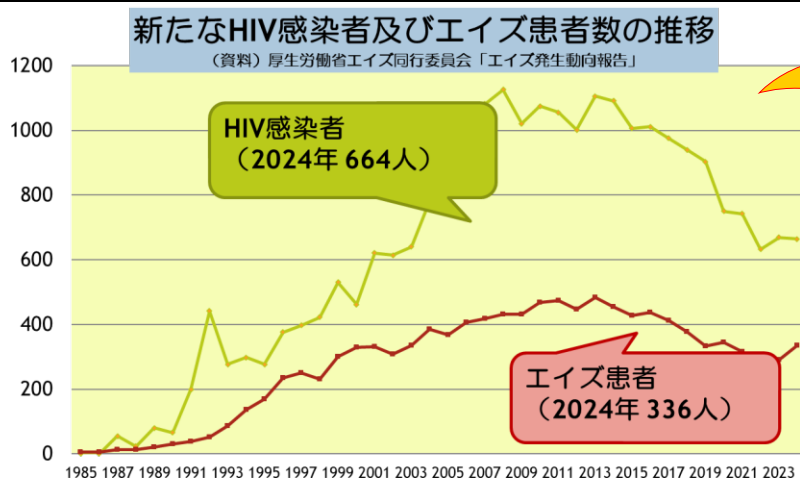
—あなたとあなたの大切な人を守るために—

エイズ

HIV 感染とエイズの発症

エイズとは、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）に感染し発症することで、体の免疫力を低下させる病気です。感染理由の**およそ 8 割が性行為**による感染で、感染から 2～8 週間後にインフルエンザに似た症状が出る場合があります。その後、自覚症状のない時期（無症候期）が数年続き、進行すると、体内で HIV が増え、徐々に免疫細胞が破壊されていきます。また、性行為により知らない間に HIV を他人へ感染させる危険性があります。さらに進行すると免疫力の低下により、健康な人ならかからない種々の感染症やがんを発症します。

HIV に感染しているかどうかは、HIV 抗体検査を受けることで確認できます。



2024 年
HIV 感染者の
年間新規報告数は
過去 20 年間で
2 番目に少ない
報告数

エイズは「死の病」ではありません

エイズは、かつて「死の病」として恐れられていましたが、現在では HIV が体内で増えるのを抑制する治療薬（抗 HIV 薬）が開発され、病気の進行を抑えることが出来るようになってきました。

HIV に感染しても**早期発見**し、**継続的な治療**を行えば、これまでと同じように健康的な社会生活を送ることができます。



これから妊娠を望む方の、妊娠・出産は可能です。血液中の HIV ウイルス量が検出限界未満に 6 か月以上抑えられている場合は、自然妊娠も可能です。



不安な方は人生の節目に検査を受けよう



HIV 感染の有無は血液検査で調べることができます！

龍野健康福祉事務所（たつの保健所）では毎月第 2・第 4 火曜日（13：15～14：30）に HIV 抗体検査を実施しています。詳細は裏面参照

コンドームを正しく使用しましょう

ピルは、避妊効果はありますが、感染予防効果は全くありません。特定のパートナーであっても、正しくコンドームを使用するなど、セーフアセックスを心がけることが大切です。

コンドームの正しい使用は、
性行為による HIV 感染を防ぐ唯一の方法です。

★参考★

公益財団法人エイズ予防財団～感染を予防するアドバイス～



注意!! 梅毒が増加!

梅毒の発生状況

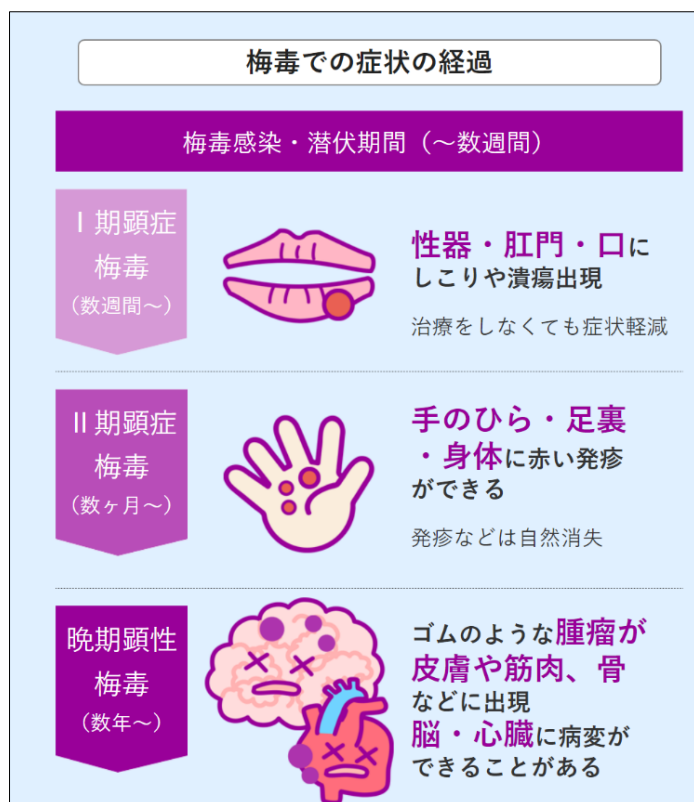
兵庫県では、令和5年492人、令和6年419人の報告。梅毒の患者は、男女別では男性の方が多く、年代別に見ると男性は20代~50代、女性は20代が多くなっています。

梅毒とは

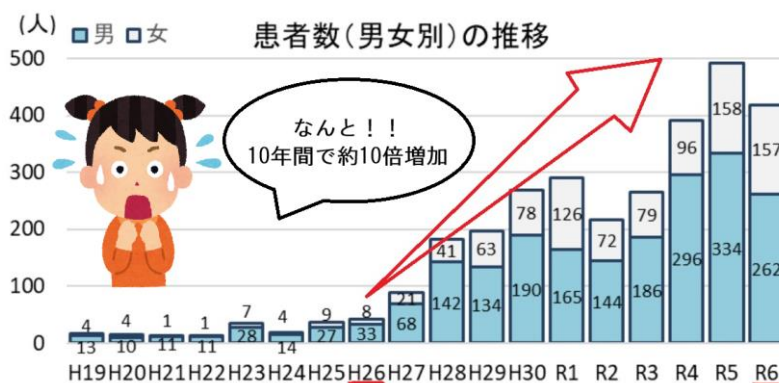
【感染経路と症状の経過】

粘膜や皮膚が、梅毒の病変部位と直接接触することで感染します。具体的には、性器と性器、性器と肛門（アナルセックス）、性器と口の接触（オーラルセックス）等です。オーラルセックスでは口内やのどに感染します。また、一度治療して完治したとしても免疫が出来ないため何度でも感染しますので、パートナーも治療しなければ再び感染します。

【症状の経過】



〈兵庫県の報告状況〉



【予防方法】

- ◎ 粘膜や皮膚が梅毒の病変と直接接触しないように
- ◎ また病変の存在に気づかない場合もあることから、性交渉の際はコンドームを使用しましょう
- ◎ 不特定多数の人との性行為を避けましょう
- ◎ 皮膚や粘膜に異常を認めた場合は、性的な接触を控え、早めに医療機関を受診して相談しましょう

HIV・梅毒抗体検査、相談について

【検査日】原則毎月第2・第4火曜日
(13:15~14:30)

- ※ 無料・匿名で検査できます。
- ※ 予約制（前日17時までに電話予約）
 - ・HIVは、感染の機会から12週間(約3ヶ月)以上開けてから受けて下さい
 - ・梅毒は、感染の機会から1ヶ月経過してから検査を受けてください。

龍野健康福祉事務所（保健所）地域保健課

TEL: 0791-63-5140

もしかして、と思ったら。HIV・梅毒検査受けてみませんか。

